

令和2年(2020年)3月5日

横須賀市新市立病院新築工事基本設計業務委託公募型プロポーザル審査経過及び講評

新市立病院設計事業者選考委員会

1 委員構成

委員長	土屋 了介	ときわ会グループ 顧問
委員	遠藤 千洋	一般社団法人 横須賀市医師会 会長
委員	渡邊 千登世	神奈川県立保健福祉大学 准教授
委員	石渡 修	横須賀市 財政部長
委員	山岸 哲巳	横須賀市 健康部長

2 特定に至る業務日程

- (1) 令和元年12月25日(水)・・・プロポーザルの公告
- (2) 令和2年1月7日(火)・・・質疑締切
- (3) 令和2年1月9日(木)・・・質疑回答
- (4) 令和2年1月14日(火)・・・参加表明書受付締切
- (5) 令和2年1月17日(金)・・・一次審査、一次審査結果の通知、技術提案の要請
- (6) 令和2年1月24日(金)・・・技術提案書作成にかかる質疑締切
- (7) 令和2年1月29日(水)・・・技術提案書作成にかかる質疑回答
- (8) 令和2年2月13日(木)・・・技術提案書受付締切
- (9) 令和2年3月5日(木)・・・二次審査、業務委託候補者の特定
- (10) 令和2年3月6日(金)・・・二次審査結果の通知
- (11) 令和2年3月初旬・・・契約締結

3 審査経過

今回の基本設計者選定にあたっては、新市立病院設計事業者選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置し、令和元年12月25日に公募型プロポーザル方式に係る手続き開始の公告を行った。

【参加資格確認】令和2年1月15日(水)

- ・令和2年1月14日(火)に参加表明書の受付を締め切り、5者から参加表明書の提出があった。
- ・参加表明書の提出があった応募者に対して、プロポーザル実施要項の「5 参加者の条件」に沿って要件を確認し、すべての応募者が参加資格を満たしている事を確認した。

【一次審査】令和2年1月17日(金)

参加者が5者であったため、全者を一次審査通過者として選定した。

なお、一次審査における各者の評価は以下のとおりである。

各者の評価（一次審査）

	A者	B者	C者	D者	E者
合計点 (満点 80 点)	80 点	76 点	35 点	52 点	70 点
一次審査結果	通 過				

【二次審査】令和2年3月5日（木）

- ・一次審査を通過した5者に対し、二次審査としてヒアリング（技術提案書の説明 15分＋技術提案書に対する質疑応答 15分）を実施した。
- ・二次審査においては、管理技術者及び意匠主任技術者の積極性、意見集約力、コミュニケーション能力、業務理解度を確認した。さらに、技術提案書に記載された実施方針並びに評価テーマ①～④の的確性、独創性及び実現性も確認し総合的に審査を実施した。
- ・ヒアリング実施後に、各審査委員の採点結果を集計し、最優秀者及び優秀者を特定した。

(1) 得点及びその順位

- ・各評価項目に対する各選考委員の採点結果をもとに、順位を点数換算した。
- ・選考委員全員の確認のもと、以下の採点結果から、最優秀者及び優秀者を特定した。
なお、選定にあたっては、匿名性を確保するため、参加者名は伏せて選考を行なった。

各者の評価（二次審査）

		A者	B者	C者	D者	E者
委員①	委員評価点	68	61	64	71	56
	価格点	10	3	10	10	10
	合計点	78	64	74	81	66
	順位	2	5	3	1	4
	順位点	90	60	80	100	70
委員②	委員評価点	72	82	67	62	77
	価格点	10	3	10	10	10
	合計点	82	85	77	72	87
	順位	3	2	4	5	1
	順位点	80	90	70	60	100
委員③	委員評価点	63	75	50	68	55
	価格点	10	3	10	10	10
	合計点	73	78	60	78	65
	順位	3	1 ^{※1}	5	2 ^{※1}	4
	順位点	80	100	60	90	70
委員④	委員評価点	55	71	69	64	55
	価格点	10	3	10	10	10
	合計点	65	74	79	74	65
	順位	4 ^{※2}	2 ^{※3}	1	3 ^{※3}	5 ^{※2}
	順位点	70	90	100	80	60
委員⑤	委員評価点	78	73	61	59	34
	価格点	10	3	10	10	10
	合計点	88	76	71	69	44
	順位	1	2	3	4	5
	順位点	100	90	80	70	60
順位点合計		420	430	390	400	360

※1～※3 同点評価であったため、一次審査の結果が優れる者を上位とした。

以上の結果、最優秀者及び優秀者を下記に特定した。

最優秀者 : 株式会社 山下設計 (B者)

優秀者 : 株式会社 梓設計 横浜事務所 (A者)

(2) 全体講評

今回の公募型プロポーザルの審査は、医師や看護師をはじめとする病院職員等との対話力の観点を重視して評価を行ったものである。

対話力を評価する前提には、病院建設についての豊富な知識と経験、また、高度な企画力、調整力及び技術力を有し、かつ、昨今の建設費の高騰等の社会的背景や病院経営の観点も含め、適正な建設費で整備するための資質を有していることが必要となる。

それを踏まえ、本プロポーザルに参加された各者の提案は、豊富な病院建築の設計業務実績を持ち、意匠主任技術者を中心とした優秀な人材を配置すると共に、組織を上げてのバックアップ体制や積極的な病院職員とのコミュニケーション、建設コスト抑制への提案など、本事業の特徴を理解し、参加しようとする意気込みを十分感じ取れるものであり、総じて水準の高い提案であった。

(3) 個別講評

① B者（最優秀者：株式会社 山下設計）

最優秀者として特定されたB者は、本事業の厳しい経済的制約をはじめ、敷地の状況、課題等を十分に理解した、優れた技術提案であった。

特に、医療提供の迅速性及び安全性、機能性を第一に考えつつ、患者及び職員アメニティにも配慮された設計思想が各委員から高く評価された。

ヒアリングにおける意匠主任技術者を中心とする積極性、意見集約力及びコミュニケーション能力への評価も高く、総合的評価として最優秀者として選定された。

ただし、周辺環境及びコスト縮減を図る1フロア4看護単位の提案について、動線の長さを指摘する声もあり、基本設計を行う際に、さらなる改善提案が望まれるところである。

② A者（優秀者：株式会社 梓設計 横浜事務所）

優秀者として特定されたA者は、仕様書に記載された駐車台数では不足ととらえ、積極的に立体駐車場整備の提案が行われたが、コスト増への対応策について、選考委員の十分な理解が得られなかった。

全体を通し、新市立病院の医療機能の特徴や、新敷地の立地条件、院内保育所の環境への配慮など、きめ細やかな提案があり、本事業の特徴を十分に理解していることが読み取れる提案であった。

③ C者

C者は、基本設計段階から施工チームを参画させる唯一の提案であった。コストの縮減に対する意識は高く、施工チームが把握する実勢価格を反映した提案がなされ、一定の評価を得た。

今回の基本設計は、続く実施設計・施工一括発注を行うための要求性能を整理する位置づけでもあり、実施設計・施工段階における更なる提案を生む柔軟性が乏しいことが懸念された。

④ D者

D者は、基本設計が建設コストに与える影響の大きさや、竣工後60年間のライフサイクルコストについての具体的試算など、コスト縮減に係る意識の高さが評価された。

一方で、新市立病院の機能を踏まえた部門面積の配分が考慮されているかの質疑において疑問が見られ、業務の理解度や提案内容の整合性が懸念された。

⑤ E者

E者は、近隣環境への配慮及びコスト縮減を狙った1フロア4看護単位を基本とした建物の低層化を図った提案であった。

管理技術者及び意匠主任技術者の提案能力、ヒアリングにおける明確な受け答えについては評価された。

基本設計を含め、実施設計・施工期間を含む事業全体の工程を約1年短縮する積極的な提案があったものの、許認可に要する期間の設定に疑問が残り、工程短縮の実現性が乏しいと考えられた。